

平成30年3月22日

各小中学校長 様
各保育園長 様
各幼稚園長 様

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会

会長 静岡市立番町小学校長 大石 成伸
副会長 掛川市立小笠北小学校長 齊藤 辰治

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会「第3回小笠地区講習会」について（通知）

陽春の候、皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、言語・聴覚・発達障害教育につきまして、深い御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。さて、本講習会は、本来通級指導教室担当・難聴学級担任・幼児ことばの教室担当を対象に実施しておりますが、今回は、特別支援教育に携わる保育園・幼稚園・小学校・中学校の方々にも御参加いただきたく、下記のように講演会を開催することといたしました。御多用中とは存じますが、多くの方々に御参加いただきたく、御案内申し上げます。

記

- 1 日時 平成30年5月12日（土）9：30～13：00
- 2 会場 掛川市22世紀の丘公園 たまりーな 大研修室
（掛川市満水1652 電話0537-24-2735）
- 3 参加者 静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会会員
希望する小笠地区の保育園・幼稚園・小中学校の保育士及び教職員
- 4 内容・日程
 - (1) 講演会 9：30～11：45 *受付9：10～9：25
 - (2) ワークショップ 12：00～13：00

演 題 小学校低学年への読み書き支援
～通常の学級における『多層指導モデルMIM（ミム）』を利用して～
講 師 ^{かいづ} ^{あきこ} 海津 亜希子 先生（国立特別支援教育総合研究所 主任研究員）

幼児期には見られなかったのに、読み書きの学習が始まるとたん困難を見せる子どもはいませんか。学年は進んでも、特殊音節の書き間違いをしていることはありませんか。

MIMは、学力の基礎である小学校入門期の読みに焦点を当て、読みにつまずきのある子どもへの早期支援を目指して開発された学力指導モデルです。

すでに通級では、読み書きの苦手さがある子どもの指導に、科学的根拠（エビデンス）に基づいて楽しく取り組めるMIMを取り入れています。また、小笠の中でも通常の学級や特別支援学級で取り入れたり、全国では市ぐるみの取り組みによる成果報告がされたりしています。

そこで、小学校1年生がMIMを利用した学習を始めるならば最良の5月に、MIM開発者である海津先生の講演会を企画しました。講演会後はワークショップ（通級担当がMIMの実際のやり方や実践例を紹介する。）も行います。

低学年担任をはじめ、ひとりでも多くの方にMIMの考え方を知っていただき、実践者も子どもたちも楽しく手応えのある学習につながればと思います。また、読み書きと幼児期との関係についてもふれていただける予定です。

- 5 参加費 無料（資料代を徴収する場合あり）

6 その他

- (1) 別紙申込み票で、FAXにて、前日までにお申し込みください。
- (2) 持ち物
 - ・バインダー等下敷きとなるもの（机の用意が少ないため）
 - ・外靴を入れるビニール袋
 - ・スリッパ
 - ・冷房対策のもの
 - ・ワークショップ参加者は必要に応じて昼食となる軽食
- (3) 駐車場は、会場から離れたところ（P1以外）を御利用ください。
- (4) MIMという言葉は初めて聞く方は、多層指導モデル <http://forum.nise.go.jp/mim/> に目を通しておかれるとよろしいかと思ます。

担当：掛川市立中央小学校・発達通級指導教室 藤田 順子
教室直通（電話FAX） 0537-23-0234

園・学校・所属所名		
参加者氏名 (担当学年・所属など)	参加○ 不参加×	
	講演会	ワークショップ 海津先生は いらっしゃいません。

当日、先生への質問時間はとれないと思われます。お聞きしたいことがあればお書きください。